

産業応用フォーラム

自動車・家庭・業務系から見たスマートグリッドへの期待と課題 ～スマート社会の産業分野が実現すべき新たな価値とは？～

概要: 電気学会産業応用部門スマートファシリティ技術委員会(SMF)では、平成26年10月から平成28年9月にかけて国内外のスマートグリッドに関する電気事業者と需要家とに関するサービス及び、その実現に必要な基盤技術について、調査研究を行い、「国際標準に基づくエネルギーサービス構築の必須知識」として書籍化しました。また、自動車技術委員会(VT)は、自動車技術委員会の自動車用電源システムとその活用調査専門委員会、平成26年4月から平成28年5月にかけて電動化・電子化する電動車両の電源システムに関する技術動向および電力系統とつながる車両の系統電源への影響・協調など、その活用について調査を行っています。一方、家電・民生技術委員会(HCA)では、平成27年9月から平成29年8月にかけて、新電力社会で変革を迎える地域と家庭のスマートエネルギーシステム技術協同研究委員会により、地域と家庭の電力利用形態に影響する新電力ビジネスモデル、コミュニティ、家庭におけるスマートエネルギーシステムの相互協調、スマートエネルギー複合システムの信頼性、などの技術を調査しており、シンポジウム、公開セミナーで順次結果を開示してきました。

これらの3つの技術委員会を対象とする自動車、家電・民生機器、業務系システムの調査状況を解説し、来るべきスマート社会に対して、それぞれから見た期待と課題を示すことで、今後連携して議論を進める点を明らかにする産業応用フォーラムを開催します。皆様のご参加を心よりお待ちしております。

日時: 平成29年2月9日(木)13:30~17:05, 2月10日(金)9:00-17:00

会場: 名古屋大学ベンチャービジネスラボラトリ

名古屋市千種区不老町 B2-4 名古屋大学東山キャンパス内

名古屋市営地下鉄名城線「名古屋大学」下車(JR名古屋駅から約30分) 3番出口から徒歩6分

TEL: 03-3221-7312 [http:// http://www.vbl.nagoya-u.ac.jp/access.html](http://www.vbl.nagoya-u.ac.jp/access.html)

プログラム:(各講演タイトルを変更する場合があります)

2/9 国内ユースケースのモデル化と国際標準化動向 中村正雄(富士電機:SMF)

エネルギー消費行動の観測と分散蓄電池群の協調的利用に基づく車・家庭・地域調和型エネルギー管理システム ~JST,CREST 鈴木チームの紹介~鈴木達也(名古屋大学:VT)

地産地消コミュニティと自律分散エネルギーシステム 中村良道(福岡スマートハウスコンソーシアム代表/スマートエナジー研究所:HCA)

スマートグリッドセキュリティの動向と課題 水野 修(工学院大:SMF)

分散車載蓄電池群の電力システムへの影響とアンシラリーサービス 薄良彦(大阪府立大学:VT)

2/10 分散車載蓄電池のエネルギーマネジメントへの応用とバッテリーへの影響評価 太田豊(東京都市大学:VT)

スマートグリッド需要家施設情報モデル 田中立二(東芝:SMF)

次世代電力システムに対応した需要家 CIM モデルの検討 小坂忠義(日立製作所:SMF)

家と車の新たな関係ー電気自動車の新時代 有馬仁志(横浜スマートコミュニティ代表/有馬マネジメントデザイン HCA)

スマートグリッド電力需給情報連携サービスの海外動向 山口順之(東京理科大学:SMF)

家庭内エネルギー保障と V2H 津野真仁(ニチコン:HCA)

EV用バッテリーのリユース技術 天野展宏(フォーアールエナジー:VT)

スマートコミュニティの課題と展望 古田康衛(鹿島建設:HCA)

パネルディスカッション モデレータ 水谷良治(電気学会産業応用部門研究調査運営員会副委員長)

テキスト 当日配布資料(参加費に含まれます)をテキストとして使用します。

参加費: 会員(正員) \8,000-(不課税) 非会員(一般) \16,000-(税込)

会員(准・学生員) \4,000-(不課税) 非会員(学生) \8,000-(税込)

なお、オーム社より出版の電気学会編「国際標準に基づくエネルギーサービス構築の必須知識」の特別販売があります。受付でチラシをご覧ください。

申込方法: 下記いずれかの方法により、お申し込みください。

○ホームページからのお申込み: <http://www.iee.or.jp/forum.html>

○電子メール、または FAX でのお申込み: 「産業応用フォーラム「自動車・家庭・業務系から見たスマートグリッドへの期待と課題」参加申し込み」と題記し、会員/非会員の別、氏名、所属、連絡先(住所、電話、ファックス、電子メール)、各テキストの要・不要の別をご記入の上、2月2日(木)までに下記へお申し込みください(定員100名に達し次第、締め切らせていただきます)。

トヨタ自動車(株) 立花 武 Fax 03-3817-9035, e-mail: takeshi_tachibana(at)mail.toyota.co.jp【注 (at)を@に置き換えて発信ください。】

参加費支払い方法: 参加費は、当日に現金でお支払い願います。領収書は、原則としてフォーラム当日の日付で会場渡しとなりますが、その他のご指示がある場合は申込時にご連絡ください。

共催: 電気学会 産業応用部門 スマートファシリティ技術委員会(委員長 小林 延久)

電気学会 産業応用部門 自動車技術委員会(委員長 貝塚 正明)

電気学会 産業応用部門 家電・民生技術委員会(委員長 大森 英樹)